

平成30年度全国学力・学習状況調査について

去る4月17日に行いました全国学力・学習状況調査について、学校だよりでもお知らせしましたが、改めて6年生保護者の皆様に結果についてお知らせいたします。

学校でも、今後の指導に向けて改善事項を明らかにし取り組んでまいります。どうかご家庭でも参考にさせていただき、お子様の学力の伸長につなげていただければ幸いです。

今年度は、国語AB・算数AB・理科においては三重県平均・全国平均を下回っていました。無回答による空欄は三重県平均・全国平均よりも少なく、最後まであきらめずに解答を書こうと努力した児童の姿が伺われます。児童質問の結果の中では、学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりの読書の時間が30分以上の児童の割合が少ないことや、普段の日の勉強時間や土曜日や日曜日の勉強時間が少ないことが気になりました。

(ア) 国語の結果から

国語A（主として「知識」に関する問題）

（全国平均を5ポイント以上、上回っている）

- ・物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する問題（2）

（全国平均を10ポイント以上、下回っている）

- ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く問題（5）
- ・相手や場面に応じて適切に敬語で表現する問題（7）【資料1】
- ・文中で漢字を使う問題（せつ備・かん理・せつ極的）（8ーイ ウ オ）

【資料2】

国語B（主として「活用」に関する問題）

（全国平均を10ポイント以上、下回っている）

- ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉える問題（1ー一）

(イ) 算数の結果から

算数A（主として「知識」に関する問題）

（全国平均を5ポイント以上、上回っている）

- ・除数で表すことができる二つの数量の関係を求める問題（1ー（1））
- ・示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現する問題（6）

- ・折れ線グラフから変化の特徴を読み取る問題（9）
（全国平均を 10 ポイント以上，下回っている）
- ・少数の除法の意味についての問題（2）
- ・円周率の意味についての問題（7－（1））
- ・直径の長さと同周の長さの関係についての問題（7－（2））

算数B（主として「活用」に関する問題）

- （全国平均を 5 ポイント以上，上回っている）
 - ・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出す問題
（1－（1））
- （全国平均を 10 ポイント以上，下回っている）
 - ・示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、示された表現方法を使って記述する問題（4－（2））【資料3】
 - ・折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う判断をする問題
（5－（2））

理科

- （全国平均を 5 ポイント以上，上回っている）
 - ・より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する問題（2－（3））
- （全国平均を 10 ポイント以上，下回っている）
 - ・電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想する問題（3－（2））【資料4】
 - ・ろ過の操作方法を答える問題（4－（1））

〈今年度の結果から〉

今年度の結果から、A 問題の基本的な問題について平均正答率を下回る問題が多い結果になりました。学習している時には理解できていたことが、他の内容を学習している間に不確実になってしまっている様子が伺えます。何度も同じ事を繰り返し学習することによって既習事項を確実に定着していくことが大切だと思います。

これらの結果を受けて 2 学期の朝の学習では、算数・国語の基礎基本、計算と漢字の学習に力点を置いて取り組んでいます。

【資料 1】

7

石橋さんたちは、地域の^{ちいき}の人から仕事についての話を聞いています。次の「話を聞いている様子の一部」を読み、ア・イに入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【話を聞いている様子の一部】

4	ア いらっしやいました		イ 言っていた
3	ア 来ました		イ おっしゃっていた
2	ア いらっしやいました		イ おっしゃっていた
1	ア 来ました		イ 言っていた


石橋さん みなさん、池田さんが **ア**。今日は、おとうふ屋さんの仕事について、たくさん教えていただきました。池田さん、お願いします。

池田さん みなさん、こんにちは。

〜 (池田さんの話を聞く) 〜

石橋さん 池田さん、ありがとうございます。池田さんに質問のある人はいますか。

高野さん おとうふ屋さんは、朝早く起きなければならぬので、とても大変だと私の母が **イ** のですが、池田さんはどうですか。



敬語を用いる場合、相手と自分との関係を考えて、敬語を使うかどうかを判断することが必要です。この問題は、地域の豆腐店で働いている池田さんから仕事についての話を聞いている場面です。

アは、池田さんを教室に迎える場面で、池田さんと石橋さんの関係を考えると、尊敬語の「いらっしやいました」を用いることが適切です。

イは、高野さんが自分の母から聞いたことについて池田さんに質問する場面です。母は身内であり、自分や身内に関わる行動については尊敬語は用いないため、ここでは「言っていた」が適切です。

ここでは、話し手である地域の人と自分との関係や、家族と自分との関係を意識して、敬語を適切に使うことが求められていますが、アと同じようにイにも尊敬語を選んでいる児童が多く見られました。

相手や場面に応じて適切に敬語を使う力は、日常生活の中でも養える場面が多くあると思います。日々子どもたちの言葉の使い方に注意深く耳を傾け、その都度、正しい言葉の使い方を知らせていくことが必要だと思います。

【資料2】

オ

3 2 1
せき任の重い仕事を
大会でよい成せきを
三角形の面せきを求
める。

ウ

3 2 1
細かい説明をはぶく
ノートの文字をけす
運動会で赤組がかつ
つ。

エ

3 2 1
かん成した作品を先
生に見せる。近くの
警察かんに道をたず
ねる。ビーカーと試
験かんを水で洗う。

ア

3 2 1
せい限時間に気をつ
ける。新せい品の価
格を調べる。道具箱
の中をせい理する。

イ

3 2 1
新しい規則をもうけ
る。刺のやくの希望
を聞く。遠くへポー
ールをなげる。

【ノートの一部】

おかし店の見学に行き分かったこと

○ 調理場には、生地を練る機械など、せい造に必要な せつ備がある。

○ 衛生を保つために、調理器具などを一日に何度も しょう毒する。

○ お客さんにおいしいおかしを食べてもらうために、品質をしっかり かん理している。

○ 地元の野菜や果物などを使った新しいおかしを せつ極的に開発している。


【問い】

「ノートの一部」の「ア」から「オ」の部は、どのような漢字を使って書きますか。

部と同じ漢字を部を使って書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

8

矢野さんは、見学したことをノートにまとめています。次の「ノートの一部」をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。



漢字を正しく読み、正しく書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けることは重要なことです。また、国語科の学習のみならず、各教科等の学習の基礎となる力であり、日常生活に欠かせない知識や技能です。

既習の漢字の定着状況を把握するために設定された問題で、第3学年の「消」、第4学年の「管」「積」、第5学年の「製」「設」の漢字が取り上げられています。書かれている内容や文の意味を理解し、文の中で漢字を正しく使うことも重要なことです。日々の学習の中で、文章を書くときには必ず既習の漢字は使う。また、忘れてしまった漢字は必ず辞書を使って調べるなどの細かな学習習慣の積み上げが学習内容の定着には大きな効果があると考えます。また、漢字には意味があり、その成り立ちを知ることで使い方が理解できることもあります。漢字学習のときに成り立ちも含めた学習も大切であると考えます。さらに、面倒がらず粘り強く一つひとつ積み上げていく気持ちも養っていきたいと思います。

【資料3】

次に、九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

	かける数								
かける数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81



はるな

横に並んでいる3つの数「4, 5, 6」の和を求めると、 $4 + 5 + 6 = 15$ で、15です。15は、「4, 5, 6」の真ん中の数5の3倍になっています。



ひろと

横に並んでいる3つの数「18, 21, 24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。



はるな

それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようになるのかな。

ゆうかさんたちは、横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」について調べました。



ゆうか

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和を求めると90です。90は18の5倍になっています。

ゆうかさんの話を聞いてはるなさんは、次のように説明し直しました。

【はるなさんの説明】

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が7つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

(2) 2.の段の、横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

算数の学習では、いくつかの具体例を調べて共通点を見つけたり、条件を変更しても同じように数量の関係が成り立つのかを考察したりすることが大切です。さらに、なぜそのような数量の関係が成り立つのかを考察し、言葉や式を用いて簡潔・明瞭・的確に説明することができることも重要なことです。

この問題は、九九の表を観察し、条件を変更した場合の数量の関係について論理的、発展的に考察したことを、四則に関して成り立つ性質を基に式に表現したり（4－(1)）、示された表現方法を適用して説明したりする問題です。

問題に、「はるなさんの説明と同じように説明すると・・・」という条件があるので、①和を示す言葉 ②真ん中の数を示す言葉 ③7倍であることを示す言葉 が必要です。しかし、①②③どれかの言葉が不足した記述が多く見られました。記述内容の条件の不足は、この問題に限ることではなく、他の教科についても言えることです。国語の記述問題についても同じような傾向が伺え、問題を理解していても、それを表現する時に十分伝えきれないところも見られます。

継続して行っている朝の読書の時間を充実し、文章を読み解き、丁寧に内容を紐解いていく学びを大切にしていきたいと思えます。

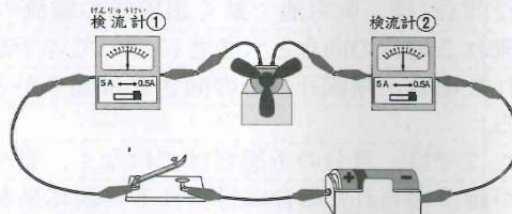
【資料 4】

ひろしさんたちは、下の図の回路を流れる電気の流れ方について、予想したことを話し合いました。



<p>ひろしさん</p> <p>かん電池の+極からモーターを通して-極へ電気が流れていて、モーターを通る前とあとの電気の量は、同じだと思うよ。</p>	<p>やす子さん</p> <p>かん電池の+極からモーターを通して-極へ電気が流れていて、モーターからもどってくるときは、電気の量は、減っていると思うよ。</p>
<p>しんやさん</p> <p>かん電池の+極と-極からモーターに向かって電気が流れていて、それぞれの電気の量は、同じだと思うよ。</p>	<p>あやかさん</p> <p>かん電池の+極から電気が流れていて、モーターを通ったあとは、電気の量は、なくなっていると思うよ。</p>

ひろしさんたちは、予想を確かめるために、2つの検流計を使って、下の図の回路で実験することになりました。



(2) やす子さんの予想が正しければ、検流計①の針が右にふれて3の目盛りを指したときに、検流計②の針はどのようになると考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

<p>1</p> <p>針の向き：検流計①と逆。 針の目盛り：検流計①と同じ。</p>	<p>2</p> <p>針の向き：検流計①と同じ。 針の目盛り：検流計①とちがう。</p>
<p>3</p> <p>針の向き：検流計①と逆。 針の目盛り：検流計①とちがう。</p>	<p>4</p> <p>針の向き：検流計①と同じ。 針の目盛り：検流計①と同じ。</p>

これは、乾電池で動く扇風機の電流の流れ方で、やす子さんが発想した回路を流れる電流の向きと大きさについての予想を基に、自分の考えと異なる他者の予想が確かめられた場合、検流計の針の向きとメモリがどうなるかという結果の見通しについて問う問題です。ここでは、自分の予想だけではなく、自分の考えと異なる他者の予想の内容も捉え、その予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すことが求められます。

やす子さんの予想どおりになった場合、モーターの左右の検流計の針の向きが同じで、目盛りが異なると考えられるので、「2」を選ぶことが適切となります。

「2」以外の選択をした児童の解答を見ると、「4」を選んでいる児童の割合が多くなっています。これは、電流の向きや大きさはモーターの左右で変わらないという学習を通して獲得した知識を基にして実験結果を見通していると考えられます。

ここでも、学んだ知識と問題の意図について、整理して答えていく力が必要となると考えます。

(ウ) 児童質問紙の結果から

(特によかったところ している・どちらかといえばしている 90%以上)

- ・学校のきまりを守っている
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・朝食を毎朝食べる
- ・家で学校の宿題をする
- ・算数の勉強は大切だと思う
- ・算数の授業の内容はよく分かる
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- ・全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- ・理科の学習で観察や実験を行うことは好き
- ・5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った
- ・調査問題の解答時間は十分だった

(生活面で改善していきたいところ している/そう思う・どちらかといえばしている/そう思う の割合が全国平均より10ポイント以上下回る)

- ・家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話す
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

(授業や学習面で改善したいところ)

- ・家で自分で計画を立てて勉強をする
- ・家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している
- ・学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりの読書の時間が30分以上の児童の割合が少ない
- ・学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間が2時間以上の児童の割合が少ない
- ・5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことがあった

(エ) 学校質問紙から

- 授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができるように学習を充実していく。
- 将来就きたい仕事や夢について考える機会を設けたり、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合ったりする学習指導を行っていく。
- 小中学校9年間を見通した「めざす子ども像」のもと、教育課程の接続や教科に関する目標設定を行う。
- 習熟度に応じた少人数指導や、地域の人材を招聘した授業を継続していく。